

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

こりす 2歳児クラス便り

令和5年3月14日 文責 大角 千代美

成長した子どもたち

～1年間を振り返って～

今年度、最後のクラス便りになりました。進級当初の子ども達の姿を思いだすと日常生活の中で子ども達の成長を改めて感じます。「先生、できない」と甘えん坊だった4月。今では「自分でする」

「自分でできる」と何でもやりたがり、すっかりお兄ちゃん、お姉ちゃんになりました。

着脱では手先も器用になり、自分のペースでボタンの掛け外しも成し遂げて脱いだ衣服は汚れ物袋に入れる、パジャマは綺麗に畳み籠の中にしまう。時には床においてある衣服を見つけると、お互いに声掛けし合う姿も見受けられます。困っている友達がいると「手伝おうか？」と声を掛けて援助するなど周りの状況を見て動ける子ども達の姿もあります。自分の事だけではなく友達、仲間を心配したり、手助けする温かい心、思いやりも培っています。

食事では箸握りがまだまだ定着せずにスプーンで食べていますが、しっかりと三本指で鉛筆握りができるまで急ぐことなく見守っていきたいと思います。茶碗を持って食べる姿も増えて、もしか組と一緒にテーブルも一段と高くなり椅子も縦に置き、背もたれが無くなると背筋を伸ばした姿勢で足置きに足を揃え確りとした姿勢で給食を食べる様になり、自分で配膳する事でおかわりも増えてよく食べる子が増えてきました。

友達関係も広がり、楽しく遊びながらも「しないで、嫌な気持ちだよ」と大きな声で相手に不快を訴えたり、「なんで、そんなことしたの？」と向き合って話し合う姿も見られ、2歳児なりの考えが表れて「もう、しないでね」「ごめんね」と自分達で解決する力もついてきました。泣いている子や困っている子がいるとすぐに気がついて「大丈夫？」と駆け寄り、手を差し出して助けてくれる優しさも感じられます。

残り2週間でこりす組からもしか組に進級する子ども達。

ちょっと寂しく感傷的になっている私とは裏腹に大きな1歩を踏み出そうとしています。4月から始まる新しい生活への期待に胸を膨らませています。今年1年間、沢山のご協力とご理解を受け賜りました事に深く感謝申し上げます。

ご期待に十分、お応えできなかった事も多々あったかと思いますが、どうぞお心広くお許し頂き、また次年度も宜しく願いいたします。一年間、有難うございました。



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 豊永 祥子 解決 責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482-2927) 横峯 友理子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)

